

'03.8

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 土谷正男
神戸市中央区花隈町6の19
☎神戸(371)1261(代)〒650-0013
<http://www.shokoren.or.jp/>
編集人 澤田 功
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 552 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



9月のこよみ

主な行事予定

- 2～4日 第二回商工会情報化推進担当者研修会 (県商工会館)
- 3日 水 人事管理委員会専門委員 会川重健保会館
- 6～14日 ステップアップ創業塾 (毎土曜日 神戸国際会館)
- 創業塾 毎土曜日 八鹿商工会館
- 8日 月 第五回商工会政策研究会 (県商工会館)
- 8～9日 業務別研修会 (山崎町商工会館)
- 19日 金 融資問題研究会 (県商工会館)
- 24～25日 商工会会長・副会長研修会 西淡町…うめ丸
- 25～26日 近畿ブロック青年部交流研修会 京都市

兵庫

料理シリーズ

『鮎の焼寿し』

今が旬の鮎。和田山町の『割烹 ときな』の名物と言えば、『鮎の焼寿し』とくる。子供から年配者まで、鮎を美味しく食べてもらおうと、従来の調理方法に工夫が凝されて出来上がった。鮎を絶妙の焼き加減で香ばしく、皮はパリッと仕上げ、口当たりをよくするために魚肉の厚さは一定にバランスを取っている。これを押し寿司にして秘伝の煮詰をたっぷり付ければキラリと光沢を放つ。香魚と呼ばれる鮎を食せば、口一杯に清流の香りが広がる。鮎は、古くは占いに用いられ、また、落とすという語源があり、厄落としにも良いということ。経済不況という厄落としに、地域活性化に繋がりたい絶品の一品である。

提供 和田山町商工会

～ 当面する諸課題への対応～

A photograph showing a group of people, mostly men in dark suits, seated around a large, U-shaped wooden conference table in a meeting room. They appear to be engaged in a discussion. The room has large windows with light-colored curtains in the background. The ceiling has recessed lighting. The overall atmosphere is formal and professional.

▲将来を見据えた成案の構築が期待される研究会。求償
債権の今年度回収額など協議する。

県商工会連合会は、六月十三日、県商工会館で、第一回融資問題等研究会を開催した。

この研究会は、商工貯蓄共済に係る融資あつせん制度の存廃も含め当面の緊急対策等を調査研究するため、今回設置したもの。

研究会の委員長には、松本紀明氏（元兵庫県信用保証協会常務理事）を選任、九名の委員で構成している。

当日、県連合会・土谷会長は委員に委嘱状を交付、「会員にとつて大きな役割を果たしてきたこの制度を様々な角度から検討し、将来を見据えた成案の構築をお願いしたい」と挨拶した。

研究会では、松本委員長の進

行により、事務局から、融資
あつせん制度の現状 融資
あつせん制度の課題 保証基
金額の確保策等についての検討
推移 研究会の設置目的―に
ついて説明した。

次いで、求償債権の今年度回
収見込額を協議。急増する求償
債権に対し、組織を挙げた回収
強化や、債権回収会社の有効活
用等により、今年度の回収目標
を五千万円に設定して取り組む
ことを確認した。

また、保証基金への資金拠出
額の基準設定については、数種
類のシミュレーション設定によ
り、必要額を算定した上で、拠出
基準を検討していくこととした。

A photograph showing a group of people in a meeting room. One person is standing and addressing the group, while others are seated around a large table. The room has a modern design with a large window and a ceiling light fixture.

▲各商工会の総会運営についても意見交換

県商工青年同友会（朝生一郎会長）は、六月十七日、神戸市・六甲荘で研修会・通常総会等を実施した。

商工青年同友会は、例年会員のみを対象に研修会を実施してきたが、平成十四年度より「ビジョン研究会」を設置し、会員増強や研修等、同友会事業の活

また、その後、行われた通常総会は、委任状を含め、四十一名の出席のもと、平成十四年度事業報告及び収支決算の承認、会則の一部改正、平成十五年度事業計画及び収支予算の決定、役員の補充選任を審議、会則の改正により、会員資格を拡大したほか、堀成志氏を監事に補充選任することを決定した。

次回研究会の開催は、七月十八日を予定、保証基金への資金拠出額の基準設定についてさらなる検討を加えていくこととなる。

**総会の
継続審議など
協議**

県商工会連合会では、六月九日、県商工会館において、第三回商工会政策研究会を開催した。今回の会議では、

平成十五年通常総会の結果と継続審議（案）件について
平成十五年各商工会通常総（代）会の結果と今後の改善点について

の二項目について、協議を行った。の協議事項については、

1. 通常総会での指摘事項
2. 抛出方法に関する論点

3 「融資問題等研究会」での検討事項

などの点から資料説明及び協議を行った。委員からは、商工会にとつて、貯蓄共済手数料は貴重な財源であり、小規模事業者にとつては、資金を融通できる最後の砦であるから、現状では存続に向けた取り組みが必要との意見が大勢を占めた。

また、の各商工会通常総（代）会の結果と課題については、総会の開催時間が長いのではないかと、また、定款改正を行っている商工会と行わない商工会があるなど、総会の運営について意見交換を行った。

なお、報告事項として、第五回商工会職員退職金問題小委員会の経過報告があった。

— 同友会通常総会
研修会も
併せて開催

性化を検討。今年度は「市町村合併にかかると、第一回目を県連合会と共催で実施した研修会は、同友会のメンバーに加え各商工会役職員など六十五名が参加し、東京都・あきる野商工会・吉澤実務局長が「市町村合併に伴う商工会の合併について」をテーマに講演。実際に合併を手がけた吉澤氏自身を感じる、合併に至るまでの最重要事項や協定事項のポイントなどについて詳しい説明があった。

▲挨拶する朝生会長

新商工会会長の紹介記事遅延のお詫び

二名の新会長が就任

商工連会報七月号において、本年度就任された新会長三名をご紹介いたしました。昨年度、県下商工会の臨時総代会でも、新たに三名の会長が就任されていましたが、ご紹介が遅延いたしました。関係各位の皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

(敬称略、順不同)

城崎町商工会



氏 義弘 出口 ぐち てる

昭和十六年六月十二日

(有)出口物産・代表取締役
副会長
写真・旅行
物産組合組合長

関宮町商工会



氏 弘 清 岡 おか

昭和十六年一月二十日
(有)岡商店・代表取締役
副会長

八鹿交通安全協会副会長・南
但食品衛生協合理事・南但小
売酒販組合理事
古い民具の収集、山野草観賞

五色町商工会



氏 雄 道 本 もと やま

昭和十五年十二月十日
山本満月堂 事業主
副会長

津名郡菓子協会会長・洲本市
五色町合併協議会委員
絵画・書

県支援策など協議

合併等問題研究会

県商工会連合会では、六月十六日、県商工会館において、第



▲「職員数の激減緩和措置」などを提案

五回商工会合併等問題研究会を開催した。

今回は、兵庫県等に要望すべき合併に関する支援策について、他府県へのアンケート調査も踏まえながら検討することとした。他府県の合併関連の支援策としては、本会が行ったアンケートの結果、本県を除く四十六連合会中三十三連合会より回答を得、その結果、県の支援策で最も多かったのは「職員の激減緩和措置」であった。

激減緩和措置の具体的内容は、現行補助金七。%確保や新たな設置基準の設置など、連合会ごとにまちまちであったが、いずれにせよ、現行の設置基準では職員数の激減により経営支援体制に支障をきたすとの見方で一致していた。

上記他府県連の調査を踏まえ、兵庫県の支援策(案)として次の二項目を提案した。
職員数の激減緩和措置

総合的な商工会運営の合理化支援、職員の資質向上支援

については全国連の試算する設置基準に併せて、今回独自に提案した設置基準が、支所の設置が可能であるなど柔軟に対応できるとの評価を各委員より得た。ただし、支所を設置する基準については明確にすべきとの意見があった。

については、合併後の商工会のあり方に関わる大切な部分であるとの委員長の意見もあり、さらに具体的な内容について次回に検討することとした。

システムの効果的な活用へ

(商工会情報化推進担当者研究会)

県商工会連合会は、六月十二日・六月十八日、県商工会館において、「第一回商工会情報化推進担当者研修会」を開催した。出席者は、延べ六十名で県連提供システムの活用とコンピュータウイリスの脅威について研修をした。

県連提供システムの活用については、クライアントサーバーシステムの導入、県連ホームページ及び経営指導支援

システムの改善点、クライアントサーバー版記帳機械化システムの注意点について説明した。次に、トレンドマイクロ株の伊東雄一氏を講師に迎えて、インターネット接続状況と脅威、コンピュータウイリスとは、ワクチンソフト選択基準、ウイリス対策ソフトについて、より詳しい説明を聴いた。

新任職員研修会 県下から 40名が出席

県商工会連合会は、六月二十六日、二十七日の両日、篠山市の新たなんば荘で「商工会新任職員研修会」を開催した。

同研修会の対象は、平成二十七年七月一日以降、商工会・県連合会に勤務している職員で、県下各地から四十名が参加した。

研修内容は、商工会職員としての心構え 初心忘るべからず 商工会の情報化 商工会法と商工会の合併等について 小規模事業支援費補助金について 商工貯蓄共済と商工安全共済について ビジネススマナーについて――。

また、分科会では、夜遅くまで活発に議論が交され、最後まで大変熱心な受講態度であった。

経済再生の先導役となるために

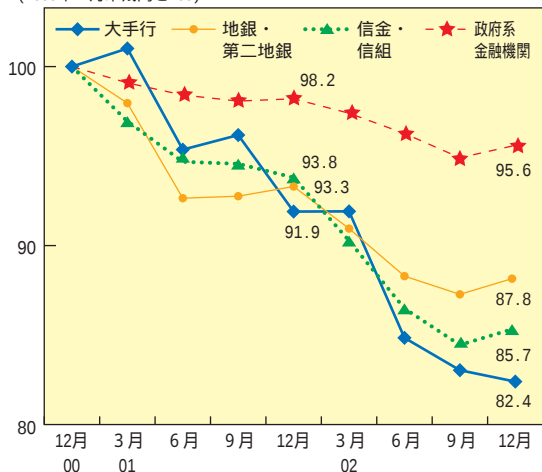
神戸新聞論説副委員長

河村 明



グラフ 中小企業向け貸出残高の推移

(2000年12月末残高を100)



資料：日本銀行，中小企業庁

銀行の不良債権問題が経済に影を落とすなか、資金調達が中小企業経営の重要テーマになってきた。経済再生の先導役を期待されながらも「貸し渋り」「貸しはがし」に悩む厳しい現実。二〇〇三年版中小企業白書は、その実態分析を基に、克服への課題を示している。

借り入れの必要のない企業には貸したがるのに、のどから手が出るほど資金がほしい会社には銀行はなかなか貸してくれない。

中小企業の間で、こんな恨み節がこころ、二年、数多く聞かれるようになった。

先のみえないデフレ不況の中、銀行にも言い分はあるが、

「超」のつく金融緩和が続いていても、中小企業には「よその世界の出来事」としか感じられないのではない。

二〇〇三年版の中小企業白書によると、バブル崩壊後、企業の資金繰りは総じて厳しくなっているが、この十年、日銀や中小企業庁が行った調査の結果をたどると、大企業と中小企業には歴然とした差があるという。

大企業の資金繰りが一進一退を繰り返しながらもほぼ横ばいに対して、中小企業は時間とともに、悪化の一途をたどっている。

これを裏付けるように、中小企業向けの融資

資金繰り悪化の一途に

残高は近年、大手行を中心に減少傾向となっており、二〇〇〇年十二月からの二年間では、政府系金融機関を除き、地銀や信金など各業態とも残高が一割以上減っている。

こうした中で、金融機関から融資申し込みを拒絶されたり、減額された企業は相当数増え、融資残高減少に、こうした企業自身の方針が影響していることは否めない。

しかし、同じ調査では、融資を拒絶・減額された企業ほど借り入れに慎重になる、との結果が出ており、金融機関の厳しい融資姿勢が巡り巡って、中小企業の経営を萎縮させていることも同時に浮き彫りにしている。

必要な企業の自衛努力

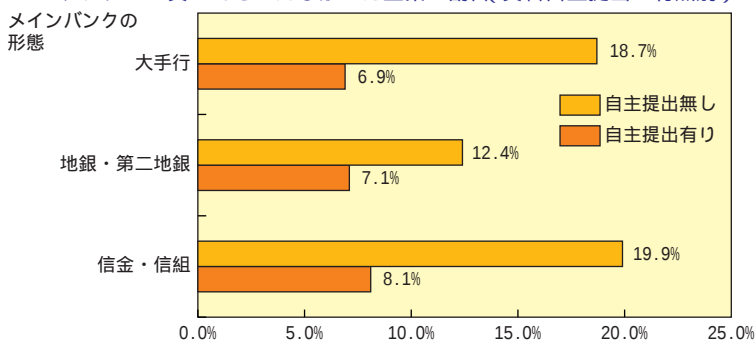
新規融資に対して金融機関が消極的となるのは、むしろ理由がある。デフレが進むにつれ、相手先の経営が悪くなったり、

担保が評価割れるなどの事情も見逃せない。

さらに突き詰めれば、不良債権処理の加速が至上命題とされる中で、新たなリスクはとりにくい、というのが本音でもある。

だからといって、そんな金融機関の都合に中小企業が振り回されていたのでは生き残りはおぼつかない。そこで大切なのは、中小企業自らが自衛策をとって

グラフ 貸してもらえなかった企業の割合(資料自主提出の有無別)



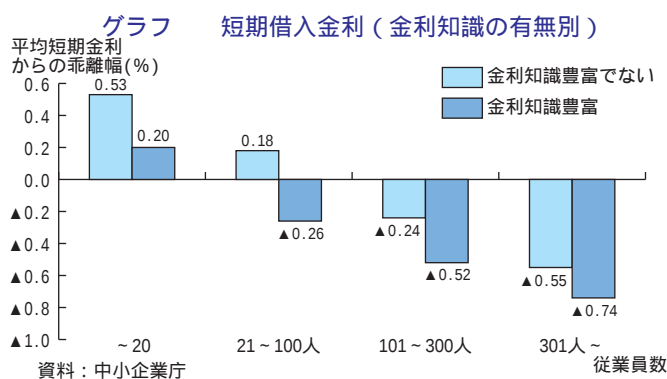
いくことだ。

その意味で、今年の白書は企業金融の実態分析を通じ、興味ある提案をしている。

その一つは、企業が経営情報を自主提示したり、長期継続的な取引に努めて、金融機関と密接な関係を築いていくことだ。

中小企業庁の調査で、貸してもらいやすさにかんがりの差がつくことに着目した提案である。

調査では、このほか、金融知識を持つ企業の方がより低い金利条件を得ていることや、メー



中小企業二十五万社のデータ

とはいえ、企業側の自助努力だけでなくすべて解決するものでもない。金融機関側も改めるべきは改めていかなば、経済の活性化は空しいお題目に終わりがけないだろう。

過去三年、企業の倒産は一万八千件を超えた。中には各地の有力企業が多く含まれ、地域経済を揺るがす状況が続いている。

そんな苦境を脱却するには、全体の九割以上を占める中小企業が活気を取り戻していくことが大切だ。金融機関には、小規模で無名の企業を危険視しがちな従来の常識をまず転換していくことが求められるだろう。

白書は、金融機関の融資姿勢について「企業の財務状況や担保などの外形的基準を重視し、手がける事業の強みや成長性をとをみることに消極的」と厳しく指摘した。

銀行は「目利き」向上を

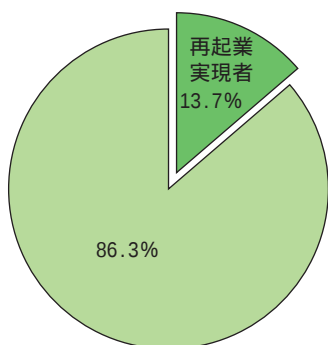
融資審査が厳しくなり貸してもらえないケースが多いという傾向が明らかになっている。

これらを受け、白書は、メー

どを含めて取引銀行を多角化しておく必要性を強く指摘している。

さらに、複数の中小企業が連携して信用力を補い合うような

グラフ 破産者の再起業状況



資料：(社)中小企業研究所

多くの中小企業が元氣になり、事業活動が盛んになることは、日本経済を長い低迷から解放する原動力となる。中小企業の自助努力は当然として、金融機関や行政の支えも同じ重みを持つ。関係者がベクトルを合わせて協力することが求められている。

このことは、既存の中小企業はもちろん、ベンチャー企業や再起をめざす経営者にとつて、より以上に重要な問題だろう。白書によると、わが国の開業

分析で、かつては経常赤字や債務超過であっても、経営努力によつて、数年後には黒字化したり、債務超過を解消する例が多いとも指摘し、「財務に現れない企業の能力を見抜く審査能力を向上させる必要がある」と提起している。

一方、高水準の倒産の裏側で、破産した経営者の半数が再起を期すが、再び起業を実現するのは一割強にとどまる実態もある。融資に個人保証を求める金融慣行があり、破産で無一文になりがちなのが影響しているとされるが、再立ち上げの資金調達道の道が開ければ、事情は大きく変わるはずだ。

地域内の工夫も、これからの課題とし、具体的な例として、神戸で一昨年秋に誕生した現代版頼母子講「コミュニティクレジット」の試みを紹介している。

率は八〇年代以降、低下の一途で、廃業率を下回る状態がすでに十数年も続いている。といつて、創業希望者は少なくなく、資金面などの問題で創業実現率が低いのが問題だという。

日本を代表する 新しい保険会社の誕生です

安田火災と日産火災は、2002年7月1日合併し、
「株式会社損害保険ジャパン」へ。



あなたの“信用”が

さらにアップ

兵庫県信用保証協会

神戸市中央区浪花町62番地の1

☎078(393)3900(代表)

第23回

大国寺と丹波茶まつり

～多彩な催しに大歓声～

篠山市丹南



▲今年は、1日だけの開催となったが、子供茶壺道中、猿回しなどで来場者を魅了する



▲ピンゴゲームに参加者は一喜一憂

「第二十三回大国寺と丹波茶まつり」が、六月一日、篠山市味間奥の茶畑周辺で開催された。これは丹波茶と地域特産物の消費拡大、また、地域の観光開発を目的とするもので、篠山市

丹南商工会（松下洋一会長）等が協賛した。

二日間の予定だったが、生憎の台風で、一日だけの開催となってしまった。今年は日照不足が心配されていたが、茶葉もすくすく成長し、良質茶も生産されている。

当日は、市内外の来場者も多く、屋外テントでのお茶、特産品等の販売も順調で、子供茶壺道中、茶席、野外特設ステージでの歌謡ショウ、バナナの叩売り、猿回し等、多彩な催しで会場内は大いに賑わった。

特に、同商工会味間支部会員

の賞品提供による「大ピンゴゲーム大会」では、六百枚が直ぐに完売となり、参加者は歓声の中で、一喜一憂していた。イベントの最後は、大国寺境内で薬師のもちまきを行い、一日だけの開催だったが、大盛況で幕を閉じた。

同商工会を始め、関係者からは、今後も多くの人々に、このまつりを通じて、地域を知ってもらい、観光・特産振興の一助になればとしている。

ホタルを

温泉街に

<城崎町>



▲生態水質調査をする青年部員

温泉街にホタルを「と、城崎町商工会（出口弘義会長）と城崎町、同観光協会は、七月一日「大谿川ホタル研究部会」を発足させた。

部会長には、四角尚之氏（同青年部長）を選出、ホタル幼虫

の放流に向けた調査研究を行うことなどを協議した。

四、五十年前、川沿いの木屋町通りには、多くのホタルも見られたが、幼虫の餌となるカワナガが減ったこともあり、姿が見えなくなっていた。ところが近年では、カワナガが生息し、その分布状況も段々増えて、川沿いの木屋町でもホタルを目にするようになってきた。

同部会では、自然環境の蘇生を願い自然と協調、共生することが求められている今、ホタルが生息できる環境づくりから、城崎温泉街の活性化につながればとしている。

なお、十三日には、同青年部による大谿川での生態水質調査も行われた。

花のある街づくり

寄植えの

植替へ

三田市女性部

三田市商工会女性部（田中明美部長）は、六月十七日、花のある街づくり事業の一環として継続実施している春期…寄植えの植え替えを実施した。

同女性部は、同市内二十六ヶ所に女性部の花として寄植を設置し、花のある街づくり事業を



▲部員が制作した寄植

推進してきた。今では、各商店の店頭にも独自で花が置かれ、商店街に多くの花が並ぶようになっている。

今後は、ある程度の数を揃えて公共施設に設置し、多くの市民に商工会女性部の花を目で楽しんでもらい、女性部のPRもしていくことを決定。市民会館、中央公民館、総合福祉保健センター、男女共同参画センター等十三ヶ所の公共施設に設置した。

Time is Money.

一時は金なりー

あなたの時間を有効に

たんぎんダイレクト

インターネットバンキング
モバイルバンキング
テレホンバンキング

地域とともに発展する

但馬銀行

<http://www.tajimabank.co.jp/>

丹波焼でイタリア料理

その相性を見る食卓会

篠山市今田町女性部

イタリア料理を丹波焼に盛り付け、その相性を見ようとする食卓会が、六月二十四日、篠山市今田町の「つばがさね交流館」で実施された。

この食卓会は、同商工会女性部（市野清美部長）が企画したもので、丹波焼の新たな提案に繋げることが狙い。

当日、伊丹市のイタリア料理店「アンシヤンテ」から料理人が来館し、部員たちが持ち寄った丹波焼の皿などにパスタやサワラのソテーなどが盛り付けた。パスタや力モ肉が見た目に鮮や



▲料理を前に参加者は真剣な表情

かで、参加者からは「意外と料理にあっている。食が進みそう」といった好評を得た。

今後、この料理店「アンシヤンテ」と若手窯元による「ブルー窯」は、イタリア料理に向けた丹波焼の制作について話し合っていくという。同女性部も同料理店と窯元との引き合わせの機会を積極的に設け、丹波焼の可能性を探っていく。

県商工会館で 新役員研修会

但東町

但東町商工会（福田俊文会長）は、七月一日、新役員研修会を県商工会館等で実施した。

県商工会連合会において、商工会役員の責務と役割並びに、商工会と県連が新規に取り組む商工安全共済について話を聞いた。

また、国の三位一体改革、平成十六年度国庫補助金、県連・商工会が抱える商工貯蓄融資問題、商工会職員退職金問題・行政合併が加速度的に進む中での



▲役員の責務と役割など学ぶ

商工会合併への取組姿勢等についても詳細な説明を受けた。その後、震災により復興した靴の町長田にある「シューズブラザ」を視察。続いて東灘区にある地酒で有名な「酒心館」にも立ち寄り、絞られた生の酒を試飲する機会もあった。小雨の降る一日ではあったが、一行は有意義な研修会を終えることが出来た。

プレミアム付の 商品券販売

南淡町

低迷する地域経済を活性化しようと、南淡町商工会（北川富嗣会長）は、「プレミアム付き商品券」を発売した。

五百円券二十二枚が一セット一万円で販売、千円分のプレミアムが付く。六千六百セットを販売し、利用できるのは、同町内を中心にガソリンスタンドやホテル、飲食店、洋品店などの



▲プレミアム付の商品券
6600セットを売り出す

二百二十二店舗となっている。割り増し分は、町が六割、取扱店が三割、商工会が一割を負担する。有効期限は六月六日から十二月五日までの半年間。同商工会では新型肺炎（SARS）の問題もあって、同町は大きな打撃を受けたが、この商品券で町を盛り上げていきたいとしている。

毎月勤労統計調査のお願い

— 7月31日には特別調査が行われます —

厚生労働省においては、我が国の雇用、賃金、労働時間の実態を明らかにするために、事業所を対象に毎月勤労統計調査（標本調査）を行っています。

特に7月31日現在で、事業所規模1～4人の事業所を対象に特別調査（調査員による聞き取り調査）が実施されます。対象となった事業所におかれましては、格別の御協力を賜りますようお願いいたします。 兵庫県 統計課

2003中小企業ビジネスフェアin KANSAI part 2

- 市場創出・販路開拓のチャンスはここに -

- 会 期：2003年9月10日（水）～12日（金） 10:00～17:00
（12日は16:00まで）
会 場：インテックス大阪1号館
（大阪市住之江区南港北1-5-102）
主 催：経済産業省中小企業庁、近畿経済産業局
共 催：中小企業総合事業団 中小企業・ベンチャー総合
支援センター
出展社数：約190企業（うち大学、支援機関等 約30）
中小企業に限定
来場予定：12,000人
テーマ分野：1. エネルギー・環境関連 2. IT関連
3. ものづくり関連 4. バイオ関連
会場構成：1. 各企業展示コーナー
2. プレゼンテーションステージ
3. 支援機関コーナー 4. 商談コーナー
入 場 料：無料

<お問い合わせ>

「2003中小企業ビジネスフェア in KANSAI」運営事務局
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル7F
Tel.06-6444-1921 Fax.06-6446-0064
E-mail. info@bf-c.info

「中小企業テクノフェア2003」
「中小企業ビジネス・メッセ2003」も同時開催！

事業の目的

同事業を展開することによつ



▲イメージキャラクターの
ヒメボタル（漢方姫）

山南町商工会下田雄司会長）
では平成十五年度事業で、「いのち育む知的なくらし」ブランド化事業で地域興し・人起しを事業テーマとして小規模事業経営支援事業に取り組んでいる。

事業の内容

- 漢方の里ブランド化事業
- ・まるごと「漢方の里さんなん」のホームページ作成
- ・漢方の里情報発信事業
- ・交流サミット
- ・ウェブマスター育成

いのち育む知的なくらし 『漢方の里』ブランド化事業 ヒメボタルサミット inさんなん 山南町商工会



▲7月5日、やまなみホールでサミットを開催。県立人と自然の博物館の八木剛研究員が、「森と蛭・姫蛭のふしぎ」をテーマに基調講演する。

ヒメボタルサミット

- ふるさと再発見事業
- ・ヒメボタルサミット
- ・里山探訪、ピオトープ
- ・伝統芸能地域再発見事業
- ・ボランティア育成塾
- ・ボランティアリーダーの組織化
- ・ボランティア育成事業



▲情報交換会には、西は山口、東は富山・愛知からも出席

希少な陸生ボタルであるヒメボタルに関する研究発表や情報交換を狙った「ヒメボタルサミット in 漢方の里さんなん」が七月五日、やまなみホールで開かれた。全国から二十四団体をはじめ町内外から二百八十名の参加のもと盛会に開催され、近畿地区の九グループから観察結果や研究成果が発表された。午後七時半からは首切地蔵尊周

辺でのヒメボタルの観察会も開かれた。



▲休憩時のパネルタイム

ヒメボタルは水辺に棲むゲンジボタルやヘイケボタルとは異なり、山林に棲むのが大きな特徴。町内では昨年六十四力所で生息が確認された。
成虫は体長六ミリで、幼虫は腐葉土の中に棲むオカチヨウジガイなどの巻き貝を食べる。羽が退化したメスは飛べず、オスも遠くに飛べないため、環境悪化に弱い。ヒメボタルサミットが商工会主催でオープン形式で開催されるのは全国でも初めてのことで、自然環境への関心をさらに高め、地域の良さを地域の人に再認識してもらうきっかけになればと願っている。



FJB

株式会社 富士通ビジネスシステム

神戸支店

〒650-0026 神戸市中央区古港通1-24(ユウシンビル)
TEL (078) 371-0831

わたしたちジブラルタ生命が、
サポートいたします。

商工貯蓄共済制度

